



鹿屋市制施行 20 周年記念 作文コンクール「未来へのメッセージ」

表彰者

最優秀賞 向原 旺志 さん（笠野原小学校6年）
優 秀 賞 植木 ひなの さん（大始良小学校6年）
優 秀 賞 山角 紗愛 さん（寿北小学校6年）

20 周年を記念し、市内小学校4～6年生に「これからの鹿屋市をこんなまちにしたい」というテーマで作文を募集し、数多くの作品の中から3名を表彰しました。



▲当日の様子を動画で
視聴できます。



祝 鹿屋市制施行 20 周年



令和7年10月18日、鹿屋市制施行20周年記念式典を挙行了しました。市民の皆さんをはじめ多くの人にご参加いただき、盛大に開催することができました。当日の式辞の一部をご紹介します。

園 市総務課 TEL 099 4 31 1127

「鹿屋市制施行20周年記念式典」を挙げるにあたり、公私ともにご多忙の中、市内外から各界各層にわたり、多数ご臨席を賜り、このように盛大にお祝いできますことを、厚くお礼申し上げます。

さて、鹿屋市、輝北町、串良町、吾平町が合併し、現在の鹿屋市が平成18年1月1日に誕生しました。それぞれの地域が持つ歴史、文化、伝統を融合させ、新たな価値を創造しながら、今日まで発展にご尽力いただいた先人たちの功績に、改めて深く敬意を表します。

これまでを振り返ると、台風・豪雨による大規模な風水害、サツマイモ基腐病、高病原性鳥インフルエンザの発生、3年に及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大など、様々な危機にも直面してきましたが、その都度、関係者や多くの市民の皆様のご理解、ご協力により克服してきました。

一方、52年ぶりの開催となった「かごしま国体・かごしま大会」、本市の出品牛が最高賞を獲得し鹿

どのスポーツ施設の充実を図り、大学やスポーツ関連団体と連携しながら「スポーツのまち」を推進し、スポーツ合宿や大会誘致、ホームタウンスポーツを通じた地域活性化を図ってきました。

今後も、少子高齢化対策はもとより、こどもを産み育てやすい環境の整備や教育の充実、スポーツ振興などを進めるとともに、鹿屋に誇りや愛着をもてるシビックプライドを醸成していきます。

また、基幹産業である農林水産業については「第2次かのや農業・農村戦略ビジョン」に基づき、担い手の確保・育成、生産基盤の強化、スマート農業の推進、販路拡大、地域6次産業化、食品加工工業の誘致などに取り組んでいます。特に、肝属中部地区畑地かんがい施設が整備されたことから、水を生かした付加価値の高い農業の展開が期待されています。今後、食料の安定的な供給と持続可能な「農のまちかのや」を目指し、農林水産業の振興を積極的に展開していきます。

長年の悲願でありました東九州自動車道の整備については、鹿屋申良ジャンクションから志布志イ

児島県が2連覇した「全国和牛能力共進会」、大隅半島から初となる「鹿屋中央高校の夏の甲子園出場」「全国高等学校総合文化祭の開催」など、熱気と歓喜に包まれた出来事もありました。

本市は、この10年、地方創生の実現に向けて、まちづくりを進めてきました。また、こどももなかなか社会の実現を図るとともに、高齢者等を支える地域包括支援センターの設置や地域での支え合いなど生まれ育ったふるさとで、心豊かで健やかに暮らせる地域づくりに取り組んできました。

鹿屋女子高校の新校舎の整備など、魅力ある学校づくりを進め、また、小中学校におけるグローバルな人材を育成する英語教育の充実などのほか、地域でこどもたちを育む寺子屋の運営にも関係者の協力を得て取り組んできました。

鹿屋体育大学が立地している優位性を生かすとともに、日本有数の規模を誇るかのやグラウンド・ゴルフ場や平和公園屋内練習場な

ンターチェンジまでが開通し、広域交通ネットワークが強化されるなど、さらなる交通インフラの整備促進に努めていきます。

本年は、戦後80年という節目の年でもあります。戦争の記憶が薄れていく中、戦争の歴史的背景を有するまちとして、戦跡の保存・活用や、平和学習ガイドの育成などに取り組んできました。今後も戦争の記憶を風化させず、過去の教訓をもとに平和の尊さを若い世代へ繋いでいきます。

本市は、大隅半島の中心都市として大きな役割を担ってまいりました。これから少子高齢化、人口減少が加速度的に進む中、地域課題の解決や地域の資源を生かしたまちづくりには、広域的な連携を視野に入れた取り組みが求められています。今後とも、大隅総合開発期成会などを通じて、関係自治体と連携、協力し、ともに発展する道を目指していきます。

結びに、市民の皆様には、本市の発展に今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご健勝とご多幸を心から祈念いたします。

鹿屋市長 中西 茂